

| | | | |
|--|-----|-------------------|---------|
| 開設年度 | | 開講部局 | |
| 2010 | | 共通教育 | |
| 科目名 | | | |
| 20歳からのハローワークII | | | |
| 英語科目名 | | | |
| 前後期 | | 履修期 | 開講区分 |
| 後期 | | 2期 | 毎週 |
| 科目形態 | 単位数 | 大分類(科目) | 中分類(分野) |
| 講義 | 2 | 教養科目 | 人間教育科目 |
| 受講学部学科 | | | |
| 全 | | | |
| 担当教員 | | 担当教員所属 | |
| 神田嘉延 | | 稲盛アカデミー | |
| 連絡先(TEL) | | 連絡先(MAIL) | |
| 099-285-3755 | | k6820452@kadai.jp | |
| オフィスアワー(授業時間外の対応) | | | |
| 水曜日14時30分から16時 | | | |
| 共同担当教員 | | | |
| キーワード1 | | キーワード2 | |
| 視野・判断力・探求能力 | | | |
| 授業概要(目的・内容・方法) | | | |
| <p>現在の日本の大学卒業も人生目標を職業選択から考えるために、地域で自ら学んで、教育活動に力をいれている経営者の職場を視察して、その経営者をゲストとして招聘して、学生自ら職業や仕事を実践的に考えられるように、討論し、それを普遍化させる意味で、講義をする。学生自ら進路を実践的に考えていけるような基礎能力をつける内容とする。方法は授業担当者の神田からゲストの経営者や職場の位置づけをして、そのうえにたって、ゲストに語ってもらい、学生自身が討論できるような授業形態をとる。質問と討論時間も十分に保障して、学生と授業のなかで対話できるような授業方法をとる計画である。人数が多い場合はグループ討論の形式を設ける場合がある。</p> | | | |
| 学習目標 | | | |
| <p>様々な職業分野の職場視察と経営者の実践の話をきくことによって、将来の職業生活には実践的に多様な能力が必要とされることを認識させる。仕事のおもしろさと大切さを職場視察と実践的な経営者の話を聞くことによって、認識させる。自己の進路選択を職業や仕事のおもしろさとの関係で考えさせる。</p> | | | |
| 授業計画(15回に分け、回数、授業内容、自学自習等) | | | |
| <p>1. オリエンテーション、目標の説明、今後の進め方の説明、講義、 2-6. 企業での社員教育と経営者の人生論・人間観の実践事例の講義と、それを積極的に展開しているゲストによる話しと討論 7-11. 地域社会での企業と経営者の人生論・人間観の事例の講義と、それを積極的に展開しているゲストによる話しと討論 12-14. 国際社会・異文化社会と経営者の人生論・人間観の事例の講義と、それを積極的に展開しているゲストによる話しと討論 15. 学生の発表会</p> | | | |
| <p>ゲストスピーカーは下記のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・濱田 健一郎 氏(株式会社中央ビルサービス 常務取締役) ・久永 祐司 氏(株式会社インハウス久永 代表取締役社長) ・慶田 隆 氏(株式会社ユーケーデンタル 代表取締役社長) ・寿福 一隆 氏(株式会社寿福産業 代表取締役社長) ・今給黎 正己 氏(トータル・ソフトウェア株式会社 代表取締役社長) | | | |

| 受講要件 | 成績の評価基準 |
|---|--|
| 「20歳からのハロワークⅠ」の受講生が望ましい。受講していない学生は、レポートによって受講可にする | 評価基準および方法 授業中の学生の個々の発言30%、小レポート（出席も兼ねる）70% |
| 教科書 | 参考書 |
| なし | プリント配布 |
| その他 | |
| | |